

ぎょうむそくほう

【ダイジェスト】

No.694

2025年9月30日

東海旅客鉄道労働組合

<https://www.jrtu.jp>



「ハートフルカンパニービジョン ⇒2027」の取り組み推進!

Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION/Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION/Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION

系統別業務委員会②【車両・施設・電気】

系統別業務委員会において詳細に議論

Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION/Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION/Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION

9月30日、申第4号「より親しまれる会社をめざした各種施策の展開（系統別課題）に関する申し入れ」に基づき業務委員会（車両・施設・電気）を開催し、各系統課題について多岐にわたり会社と議論を展開した。

車両系統では、設備や車両の老朽化に対応する取組みが着実に進んでいることを確認した。施設系統では、現場業務の効率化のために保線管理システムの刷新や帳票の電子化が進んでいることや、作業間合いの確保や人財不足への対応について検討が進められていることを確認した。電気系統では、保全の高度化のために設備管理システムの更新や監視技術の導入が進められていることや、省力化や効率化に資する技術の活用について検討が進められていることを確認した。

さらに、今後はキャリア採用による人財が各系統に配属される予定であることや、この間の共通課題である熱中症対策や離職防止に向けた取組みも進められてきたことを確認した。

JR東海ユニオンは、引き続き職場の実態をしっかりと伝え、「将来にわたる会社の発展と組合員・家族の幸せ実現」に向けて交渉を展開していく。

【主な議論内容】（部分は、現時点で前進を確認した事項）

1. 共通

- ✓業務量に見合った要員配置と業務効率化の推進
- ✓人財確保の取り組み
- ✓公平・公正な人事評価
- ✓熱中症対策の推進

2. 車両系統

- ✓地域を跨ぐ異動
- ✓検修設備の老朽化対策等
- ✓老朽車両メンテナンス

3. 施設・電気系統

- ✓業務量に見合った要員配置と業務効率化の推進（要員不足、工務系統の柔軟な働き方）
- ✓技術継承、技術力向上に向けた人財確保及び教育体制の充実（技術力向上、社内ライセンス、プロ職の運用）
- ✓グループ会社・関係会社の人財不足に向けた対策推進（作業員不足、機械化、省力化、システム化、他社事象等対応）
- ✓保全・工事業務が確実に実施できる保守作業間合いの確保（在来線課題、新幹線課題、共通）
- ✓短中期的に前進を図るべき課題（設備保守レベル見直し、工事積算簡素化、各種学会の加入促進）

・ポテンシャル採用の採用実績および配属は、車両系統3名、施設系統9名、電気系統3名が各現業職場等へ配属予定であることを確認!

・385系量産先行車を1編成新製されることを確認!
・HC35形を2028年度から順次投入することを確認!

・360度画像を活用した線路版ストリートビュー（Open Space）の作成が進められていることを確認!
・GIS基盤の構築が完了し土木構造物の雨季前点検が実施されていることを確認!（新幹線）

・標準工程化や単価契約の取組みにより、効率的に工事発注に関する契約積算業務の検討が進められていることを確認!

※議論内容の詳細については、後日発行の「ぎょうむそくほう」をご確認ください。